

第6回菰野町総合計画策定検討委員会 会議概要

開催日時	令和2年9月24日（木） 13:30～15:45
開催場所	菰野町庁舎4階 大会議室
出席者	委員9名（欠席者6名）、事務局3名
会議事項	<p>1. 企画情報課長あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <p>（1）総合計画 分析資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口ビジョン、令和2年度町民アンケート調査結果 <p>（2）経過報告、今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区懇談会、ホームページによる意見募集について ・パブリックコメントの実施について ・フォトコンテスト、概要版 サブタイトル募集の実施について <p>（3）策定検討委員会での意見まとめについて（提言書の作成に向けて）</p> <p>（4）次期菰野町総合計画（中間案）について</p> <p>3. その他</p>
会議要旨	<p>1. 企画情報課長あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <p>－事務局より人口ビジョン（修正箇所）、 令和2年度町民アンケート調査結果にかかる資料説明（資料1）－</p> <p>（1）総合計画 分析資料について</p> <p>委員長：人口ビジョンについては、ご意見等がなければ、10月中に公表する予定とのことですので。ご意見、ご提案があれば、お伺いしたいと思います。</p> <p>一同：（意見なし）</p> <p>委員長：修正となる意見もありませんので、事務局にて公表の準備をいただきたいと思います。続いて、令和2年度町民アンケート調査結果についてですが、何かご意見があれば、お伺いしたいと思います。</p> <p>一同：（意見なし）</p> <p>委員長：先に進めさせていただきます。</p> <p>－事務局より地区懇談会報告にかかる資料説明（資料2）－</p> <p>（2）経過報告、今後の予定について</p> <p>委員長：まえがき、基本構想の部分についての意見をいただいた地区懇談会と、ホームページによる意見募集についての説明がありました。そこで出た意見については、後で説明いただく資料4 次期菰野町</p>

総合計画（中間案）へ反映すべきものは反映しているとのこと。この場では、地区懇談会の報告を受け、委員のみなさんよりご意見があれば、お伺いしたいと思います。

委員：意見をもらったものに関して、資料をまとめる際は、意見ごとに男女の別と何歳代という記載があった方が良いと思います。世代によって、自立を求めるべき方なのか、そうでない方なのかが変わってくる部分もあるので、分かる範囲で示した方が良いと思います。

事務局：まず男女別ですが、男性の出席やご意見が大半を占めています。地区懇談会でも、自治会の役員の方に来ていただいた地区が多かったこともあり、女性の参加が少なかったということです。菰野町は、自治会の役員になるのが男性という風潮が、まだまだあるということかと思います。年齢につきましては、50、60歳代以上の方が、かなり多くいらっしゃいました。地区によっては、若い方も数名出席いただいていたと思いますが、その中で、全体のことを考えてご意見をいただいた方もみえましたし、年齢の高い方から、高齢者に対しての政策的なことをメインで考えてほしいという意見もありました。そうしたことを踏まえ、今後の反省点としては、男女比や年齢など、幅広く、偏りがなくご意見をいただけるよう配慮をしていければと思います。それから、自治会の役員については、男女共同参画の観点においても、女性の参加についての啓発をしていかなければいけないと思います。

委員：町民アンケートについてですが、1,000人中、約600人が回答しています。男女比も含めて、地区別、年齢別の現在の住民構成は、ある程度正確な縮図といえるのかどうでしょうか。どうしても人口比から考えると、高齢男性が意見の中心になってしまうのではないかと思います。そこを前提として見ていくということだろうけど、若い方の意見などを、どの程度拾い上げていくのかは、考えておかななくてはいけないことかと思います。それと、多様性の観点から、外国から来て定住している方は今回の回答者の中には含まれていますか。

事務局：無記名回答なので、外国人の方から回答があったかどうかは不明ですが、住民登録されている方から無作為に抽出をしております。

委員：今後は、設問項目に国籍も入れておく必要があるのかということも気にしないといけないのではないかと。さらに、外国人で、日本語が不得意な方がいることを前提で、外国語に対応した調査票を作っていくことも、考えておかないといけない時代かもしれないです。

委員長：次にパブリックコメント、フォトコンテスト、概要版 サブタイトル募集の実施について事務局より説明をお願いします。

－事務局よりパブリックコメント、フォトコンテスト、
概要版 サブタイトル募集の実施にかかる説明－

委員長：10月より実施のパブリックコメント、フォトコンテスト、概要版のサブタイトル募集についての説明がありましたが、何か質問やご質問があればお願いします。

一 同：(意見なし)

委員長：パブリックコメントでの意見をまとめ、次回の策定検討委員会にて、最終案を検討していく流れでお願いをしたいと思います。

－事務局より計画策定に関する

意見まとめにかかる資料説明(資料3)－

(3) 策定検討委員会での意見まとめについて(提言書の作成に向けて)

委員長：最終的には、これまでの会議で出た意見をまとめたものを、提言書として策定検討委員会より町長へ提出させていただきます。資料3の意見の中から抜粋することになりますが、今の時点で、この意見は入れるべき、こんな意見が抜けているのではないか、というようなものがあれば、お伺いしたいと思います。

一 同：(意見なし)

委員長：特にご意見ありませんので、提言書につきましては、次回の策定検討委員会にて提言書としてまとめたものを最終確認していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

－事務局より本計画の正式名称についての説明－

(4) 次期菰野町総合計画(中間案)について

委員長：事務局より、次期菰野町総合計画の正式名称を、これまでの総合計画を継承し、第5次菰野町総合計画の次の計画として、「第6次菰野町総合計画」としたいという案をいただきましたが、ご異議ありませんでしょうか。

一 同：異議なし。

委員長：ご異議が無いようですので、策定検討委員会として、計画の正式名称を「第6次菰野町総合計画」とすることに同意いたします。

－事務局よりまえがき・基本構想にかかる資料説明(資料4)－

委員長：パブリックコメント前の最終段階ではありますが、本日、修正すべき意見があれば、修正した上でパブリックコメントにて公表していくとのことですので、全体の感想でも結構ですので、ご意見いただけ

ればと思います。

委員：令和、平成と西暦が混ざっており、年号の統一がされていない文章になっています。いろいろな方が見るときに、括弧で西暦が表記されていた方が分かりやすいのではないのでしょうか。2つ目は、7ページのコロナに関して、この図の感染防止の3つは、永遠に意識すべきことだと思いますが、その下の新しい生活様式については、できる限り新しい情報にした方がよいのではないのでしょうか。極端に言うと、これを来年見たときに、コロナに関して、この情報が古くなっている可能性もあるかと思っています。

事務局：西暦と年号の件についてですが、事務局の案として、基本構想内は、多くの方に見ていただくという観点で、両方を併記することとし、分野別目標内では、年号の表現で統一することとしています。どちらが見やすいかは、年代などによって変わって来ますが、基本構想については、広い世代の方に特に見ていただきたいことから併記するのが良いかと考えています。7ページのコロナの部分についてですが、項目を「災害や感染症に対する危機管理」としてありますので、ご意見のとおり、時が経過した際に、考え方が古くなってしまふことも考えられます。この部分については、表現を一部変更するか、災害の部分を含めた別の図などで表現するなど、再検討していきたいと思っています。

委員：提言書の作成において、今までの意見まとめをどのようにしていくかと考えたときに、やはり基本構想において、「私たちが意識していくこと、私たちの共有目標」を表現した部分がベースだろうと思います。この基本構想の最初の部分を重視して、提言書の作成をしていくべきだと思います。それから、大変な作業になることは重々承知していますが、分野別目標内で、SDGsの17の目標を示したアイコンを関連する項目に並べた方がイメージしやすくなるのではないかと思います。どうしても、今のままでいくと、SDGsのゴールの部分、感染防止の新しい生活様式の項目と同じぐらい浮いてしまう感じがするので、もう少しリンクをさせた方が良いのではないかという気がしています。

事務局：SDGsについては、関連するアイコンを並べて表示することを検討してきました。しかし、先ほどのコロナの話と同じく、11年後にどうなっているかということがあります。しかし、SDGsで掲げられる目標について、計画の方向性と関連する部分が多くあり、これらは当然意識していかなければならないという認識はあります。そこで、基本的には、文章の中身などでその部分を謳っていくということとして作成しています。アイコンについて、分野別目標内に入れることで、SDGsを広めていくという点では良いのですが、現状ではSDGsがそこまで町民に浸透していないという事実

があります。これは、三重県がやっているアンケートでも明らかになっていることで、計画の分かりやすさという観点から、あえて入れていないということでご理解いただければと思っております。

委員：先ほどあったSDGsのことですが、私は専門家なので、あえて意見を言わせていただきたいと思います。行政と民間では、方向性が全く違うとは思いますが、皆さんもご承知のように、日本国内だけでなく、グローバルな視点ですべてのことを考えないといけないと思います。グローバルな世界になると、日本の投資だけには頼れなくて、外部への投資にも頼っていかないと、これからの経済発展につながっていかないわけです。総合計画とは、現状を精査して、約10年後の未来を想定し、それに向けて何をやるかということですので。今、浸透していないからという理由などで載せないということは、総合計画の主旨においては、少しずれがあるのではないかと思います。SDGsは2000年からスタートしていて、2015年に国連において、新しい形になって引き継がれているものです。今後も、2030年の5年ぐらい前に、新しいものに引き継がれていくだろうと言われていきます。

委員長：さまざまなご意見が出ておりますが、事務局においてご検討いただくということでよろしいでしょうか。コロナにつきましては、菰野町が作ったリーフレットの内容を掲載していますので、このまま載せるのが良いのか、もう少し収束したら若干変えるのか、事務局にてご検討いただくということをお願いします。

事務局：いろいろな考え方があるかとは思いますが、現時点では先ほど申し上げた考えのとおりです。私たちは、現在、町民がまず、この総合計画の存在を認識していないという事実を重く受け取っています。先ほど説明しました掲載写真の募集もそうですが、まずはこの計画を見ていただくことが重要だと思います。その部分に重きを置いて考えていますので、現在としては、先ほど申し上げたとおり、計画の分かりやすさという部分を重視しています。ただ、このことにつきましては、ご意見として受け止めさせていただき、パブリックコメント等の意見も含めて検討させていただきたいと思っております。

委員長：本日の意見を踏まえて、パブリックコメントに向けた準備をお願いします。

委員：パブリックコメントの機会がありますので、そこでまた議論があればと思います。SDGsは、少し先を見据えていくという話から言えば、やはりもう少し細かく分類した上で、入れてもよいのではないかという気がします。先ほど作業が難しいと言ったのは、自治体の計画というのは、SDGsの11番目と17番目の目標については全項目にかかってしまうこととなります。その11番目と17番目

を、基本構想の主の目標にしたとして、あとの項目を他のところに入れていくという作業になります。例えば、菰野町には海がないから、14番目の項目の「海の豊かさを守ろう」というアイコンはどこにも入らない、ということではなくて、「プラスチックの流出を防ぎましょう」、あるいは「きれいな水に浄化して流しましょう」などという観点で、恐らく14番目に関連してくるだろうなどと考えていく必要があります。そうすることで、「これが海の豊かさを守ることにつながるのだ」と、逆に子どもたちは思ってくれることがあるかもしれないからです。恐らく、環境教育などについては、小学校、中学校でしますから、そのときに読んでもらうような機会になるかもしれないと思う部分もあります。ただ、本当に細かく内容を検討した場合、かなりたくさんアイコンが並ぶことになるので、逆に分かりにくいものになってしまいます。もう象徴的なもののみを全体と基本構想のところと、それぞれの分野別目標の中の「写真はサンプルです」と書いてある所にぽつんと入れるような、それくらいのイメージで良いかという気がするので、ご検討いただければと思います。

－事務局より体系図にかかる資料説明（資料4）－

委員長：文言の修正等の説明を受けましたので、ご意見があればお願いします。

委員：24、25ページの部分は、見開きとして、このようなイメージということですか。基本目標4については、スペース的に入らなかったという理由が大きいかと思いますが、3つ目の産業の項目が一番右に配置されています。基本構想、基本目標は非常に大事なことで、基本目標－共通の部分は、「目指す方向」の項目まで入れても良いと思いましたが、基本目標の1から4は、分野と個別目標までで十分かと思いました。デザイン性の問題だと思いますが、環境のページを見ようとしたときに、基本目標3なので、ブルーの所を探していけば良いのでしょうか。環境は何ページから何ページと、ページ数を付けるだけで大きく違うのではないのでしょうか。「目指す方向」が、書いていなかったら疑問に思う人もいるのでしょうか、スペースの関係で仕方ないことなので、このページには不要かと思います。もう少し、見やすきの部分は何とかするべきかと思います。

委員：確かにこのページを見たときに、基本目標が全部で5つあって、特に基本目標4の観光、文化、産業が、このように並んでいるのは、見にくいといえば見にくいですね。では、これをどうすればよいかということですが、折り畳みで広くすることも、大変な話であり、活字を小さくすると、ますます見えにくくなります。それぞれの分

野別目標のページに入る前の部分に、詳しく柱建ての部分分割して、もう一度入れるような感じにしても良いかもしれないですね。

委員：それぞれのページは、非常に見やすいと思いますよ。「目指す方向」も大きい文字になっています。

事務局：ご意見につきまして検討させていただきますので、またパブリックコメントまでに、メール等で送らせていただきたいと思います。

委員長：見やすく考えていただくということでお願いします。

－事務局より分野別目標にかかる資料説明（資料4）－

委員長：分野別目標についてなど、ご説明いただきましたので、ご意見をお伺いしたいと思います。

委員：以前の策定検討委員会で、公共施設の長寿命化についてご検討いただいたかと思います。54 ページ、「安心と安らぎを感じられる環境づくり」の項目の中で、火葬場の改修等についての項目があります。しかし、28 ページの「効率的で責任ある行政運営」の「現状と課題」の右の括弧内の4行目から、「公共施設等を継続的に提供していくためには」という文言が書かれているので、あえて火葬場に特化した項目を設けるまでして、書かなくてもよいかと思います。例えば、他の施設等でも、経年劣化による大規模改修等の必要もあるかと思います。他の施設や計画に書いていない施設などは、実施できないのかというようなことにもつながってしまうのではないかと思います。地区懇談会の会場についても、人口が増えてきて狭くなってきているとのことで、竹永地区のコミュニティセンターから竹永小学校の体育館に変更して開催されたと思います。地元区長の皆さんからも、そういったところでの建て替え等の検討のお話も聞いておりますので、28 ページの書き方で全てを含めるという意味でよいかと思っております。それと、43 ページの平成 30 年度の死亡者のデータが出たということで説明がありましたが、この「健康を支えあう地域づくり」という個別目標の中で、「現状と課題」の冒頭で死亡者の死因を記載するというのは、イメージ的にどうかと思います。そのこととは別に、引きこもりの方への対応、社会への対応能力がない方への配慮についてや、8050 問題という社会問題も出ております。町内でも、多数相談が寄せられていることを考えると、「現状と課題」においても、課題と捉え、記載することが必要ではないかと思います。また、例えば、38 ページの「子育て、子育てをみんなで支える環境づくり」と 40 ページの「生きる力を育む学校教育の充実」の項目について、幼稚園・保育園の一体化などについて、行政の縦割りの障害が出てきているような気もしておりますので、検討いただけたらと思います。他に、39 ページの「目指

す方向」の中に、社会問題にもなっている保育士人材の確保、発掘、育成というところへの支援も少し記載した方がよいのではないかと思います。

事務局：1点目について、火葬場のみで他はできないのかというご意見は、そのとおりかと思います。長寿命化とそれぞれで別けるということの意味としましては、長寿命化の部分は、その観点のみの考え方を表現し、建て替え、もしくは修繕といったことについては、それぞれの施設としての方向性を定めた上で作っていくのだという考え方でいくと、長寿命化の部分は別で考える内容となりますので、以前の計画も含めて、あえて項目を設けているということです。ただ、ご指摘の点については、考えなければいけないと思いますので検討させていただきたいと思います。

委員：59ページの目指す方向の③に「まちづくり」という言葉を、あえて復活させたというお話をいただきました。庁内策定検討委員との検討により、今回の総合計画では協働のまちづくりを特に重視しているため復活させた、とのことですが、「町民・地域の役割」の中で、「まちづくりに関して興味を持ち、自主的に参加する」としてあります。もともとは、今回の総合計画を支える大きなしくみの中で、26ページに出てくる「まちづくり」と59ページの「まちづくり」という言葉は、微妙に使い方が違ってくると思います。59ページは恐らく都市計画サイドから出たまちづくりの話だろうと思いますが、インターの周辺開発のときに、まちづくり協議会を作って、いろいろと意見を集約したいという動きを、建設事務所の皆さんから相談を受けたことがありました。その流れでのまちづくりということならば、これはこの項目にあってもよい話だろうと思います。それが、行政の縦割りのイメージでの「まちづくり」という位置づけであるならば、検討が必要であるかと思います。

委員：先ほどの人口ビジョンは、特に総合計画内に何か文言を加えるということではないということですよ。

事務局：人口ビジョンに関しましては、総合計画を策定していく上での分析資料として、既存の人口ビジョンを時点修正、改訂させていただいたものです。

委員：総合計画を考える上で、委員が検討する場合における資料の一つという考え方でよいでしょうか。

事務局：少し補足させていただくと、人口ビジョンの始まりは、国が提唱している地方創生の関係の中で、今後の人口減少を踏まえて国、県、地方がそれぞれ総合戦略を作っていくという方針が示されました。菰野町人口ビジョンは第1期菰野町総合戦略とセットで5年前に策定しております。どちらかといいますと、その総合戦略が人口ビジョンとセットものという考え方です。総合戦略を見直すために、

人口ビジョンを時点修正的に、今回改訂しています。そのことに合わせて、総合計画でも、そこを踏まえて考えていかないといけないという部分があります。もちろん、人口減少時代を迎えるということについては、考えていかないといけないということを「まえがき」で触れています。だから、分かりやすい計画にするという部分で、具体的に踏み込んで記載するのではなく、人口減少時代の現状やスタンスを示すというところで留めさせていただいています。

委員：人口ビジョンの中で、「20歳代女性の転出超過が半分に縮小するものと仮定し」との条件で人口シミュレーションをしています。そうした仮定をするには、その根拠がもちろんあるわけですが、前回の説明において、インターチェンジの区画整備事業があり、人口流入や定住も促進され、転出が少なくなることが期待されるということでした。今回の修正では、分かりにくい部分があるということで区画整備事業についての文言を外しているという説明があり、さらに、この内容が総合計画に載るわけではないということかと思いません。ただ、これを基に総合戦略の策定や実施する事業に影響を与えるという意味で、ある程度の重要性を持つものと考えれば、なぜその20歳代の転出超過が半分に縮小するものと仮定できるのか、その要因があるのかご説明いただけると助かります。

事務局：20歳代女性の人口の転出超過を半分にできるということではなくて、逆の意味として表現しています。人口が、特に最近の傾向にてそのまま将来に向かっていくと、人口減少はもちろんですが、年代、世代間あるいは男女の比率が、非常にアンバランスになっていくことになることが予想されます。人口ビジョンは、地方創生の考えのもと、長期的な見通しの中で、どうあるべきかを地域で考えていきましょうというものです。それにあたって、菰野町の最近の人口の状況を見ると、特に20歳代女性の転出が多く、この部分に問題意識を持たないと、将来的に人口がアンバランスな状態となり、そのことも人口減少の一因になっていくことが予想されます。では、その転出超過を半分にする、何割にするというかは、実は答えがあるわけではありません。もちろん、出ていく人をゼロにすることが、一番よいのですが、現実的には難しいというところで、いろいろなケースを考え、半分程度を目指すことで、将来の人口のアンバランスさを緩和していく、これぐらいの見通しを立てておくのが適切なのではないかとということです。こういう姿を目指す必要があるのではないかとという意味があり、「女性の20歳代の転出超過を半分にする」ことに課題認識を持つということで記載をしています。そうするためには、いろいろな施策を考えていかないと思いませんし、その一つとして、菰野インターチェンジ周辺を受け皿として、働く場や人口の増加を想定することができますので、そうしたこと

を、複合的に考えて、描いた人口シミュレーションに持っていくようにする必要があるということです。それが、人口ビジョンであり、それを実現していくために、策定する計画が総合戦略というものです。総合戦略に掲げるものと総合計画で掲げている方向性については、もちろん整合していないといけないと思います。

委員：理解できているつもりですがけれども、この文章の「仮定し」というのは、一つの案、ということになっているので、誤解を招きかねないかと思うのです。反対に、転出超過が半分に縮小しなかった場合のシミュレーションはどうかと思ってしまいます。そうすると、先ほどの危機認識、リスクの認識のためにということが前提であるならば、縮小しなければ、ここまで人口シミュレーションが変わるのだということが一目で分かると、よりリスクの認識が取れると思います。

事務局：人口ビジョンの23ページをご覧くださいと、仮定をしない場合がグラフ上のオレンジ、点線になります。これぐらいの差で済むと感じるか、2065年に3万人近くとなることを大きく捉えるのかは人によって異なるかと思います。

委員：これは、菰野町が国勢調査の結果において、2010年と2015年の間で人口がそれほど減っていないことから、これぐらいで済んでいます。これが、もっと減っていたら、トレンドを伸ばしていくため、もっと差が大きくなるはずですが、たまたま、あまり減っていないことで、この程度のぶれで済んでいるのだけれども、やはり3万人と3万4,000人は、かなり大きい差であると感じます。

委員：他の市町村だと、もっと差が大きいです。

委員：2010年と2015年のトレンドを伸ばしているのですが、その間に、菰野はあまり変化がなかったということですね。

委員：まとめ的な話となりますが、何度も申し上げているように、今回の総合計画は、かなりチャレンジングな章立てをしていて、写真の公募などをしたりしているわけなので、併せてSDGsのアイコンも思いきって入れてしまってよいのではないかと思います。それとともに、見やすい、手に取りやすい総合計画にしていきたいと思っています。

委員長：事務局につきましては、今のご意見等を踏まえていただいて、パブリックコメントに向けての準備をお願いしたいと思います。それではみなさん、本日は長時間にわたりお疲れ様でした。

3. その他
(事務連絡)

(閉会)